

ORIGAMI

Edited by Foxit PDF Editor

Copyright (c) by Foxit Software Company, 2003 - 2009

For Evaluation Only.

折紙探偵団 MAGAZINE

定価635円
(本体605円)

クローズアップ Close-up

創作過程のモデル化試論 —次世代の創作理論構築に向けて—

A Meta-Theory of Model-Designing Procedure for the Coming Generations
of Designing Theories

堀口直人 Horiguchi Naoto

折り図 Diagrams

シベリアンハスキー

Siberian Husky

川畠文昭

Kawahata Fumiaki

展開図折りに挑戦! Crease Pattern Challenge!

ラクダ—15°

15°- Based Camel

西川誠司

Nishikawa Seiji

つまみおり Information

第14回 折紙探偵団 コンベンション情報

The 14th JOAS Origami
Tanteidan Convention Update

第7回 TVチャンピオン 結果速報

The 7th "TV Champion
" Folders' Championship

折り紙の著作権と その扱いについて Copyright and Origami

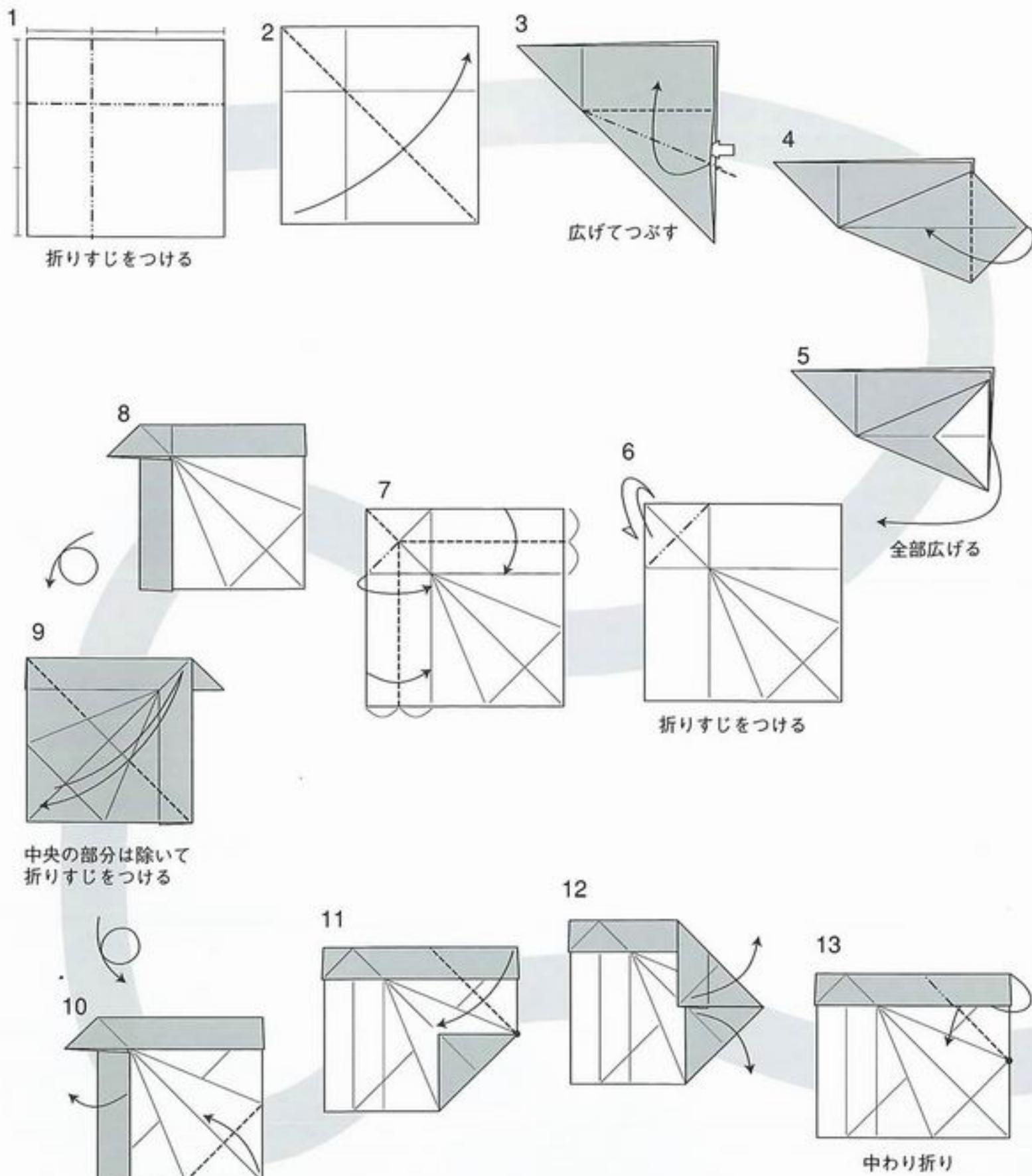
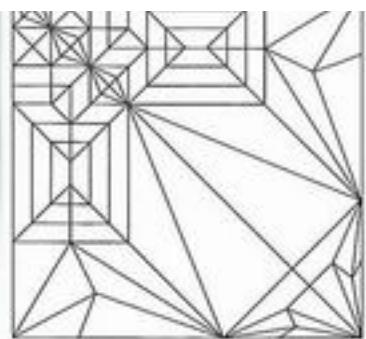


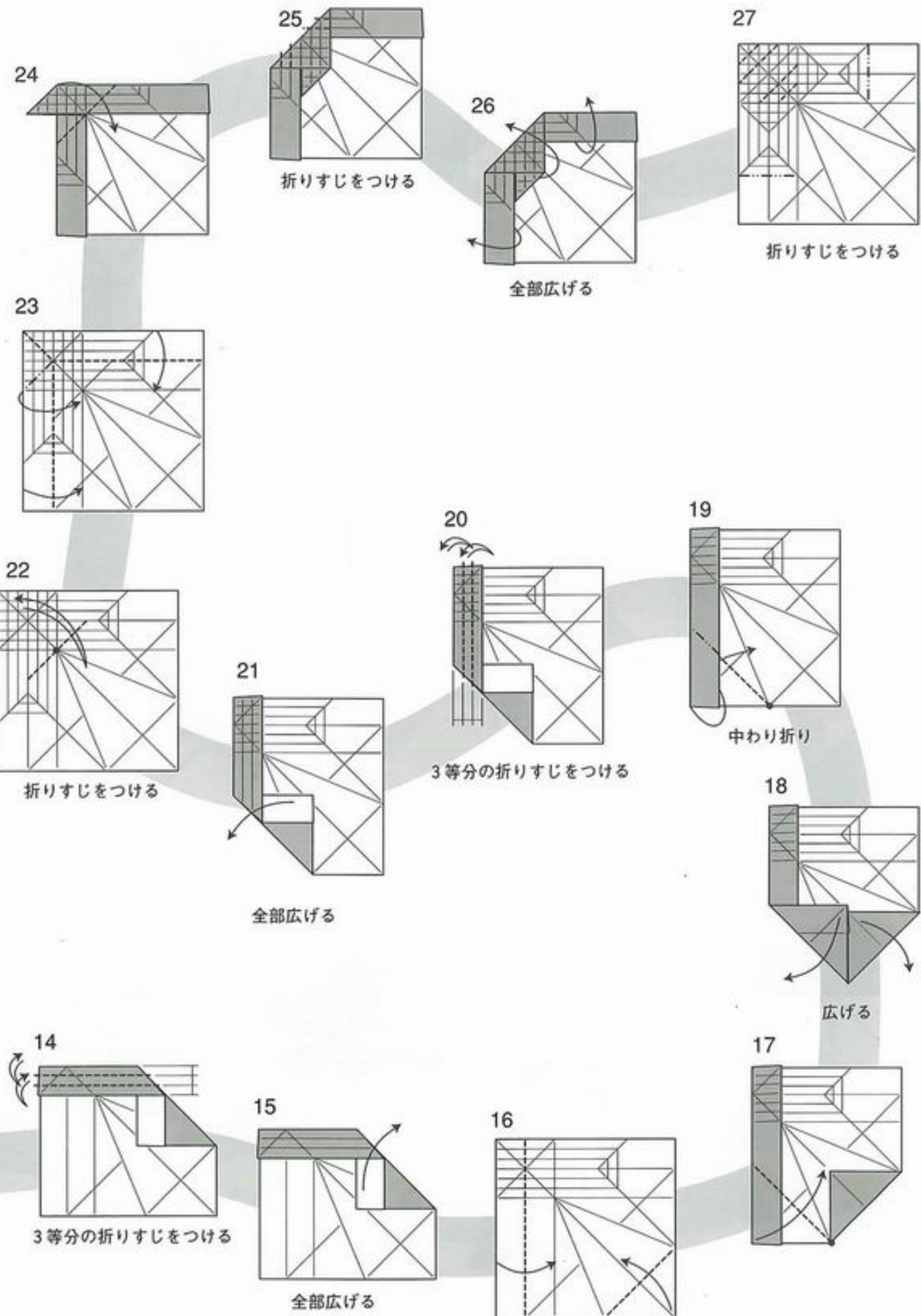
通巻 108号

シベリアンハスキー

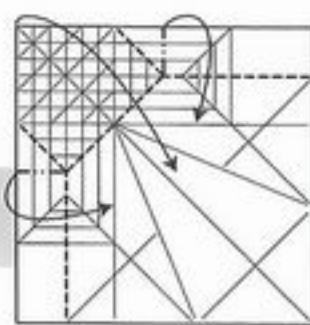
Siberian Husky

川畠文昭 Kawahata Fumiaki Feb. 4, 2007



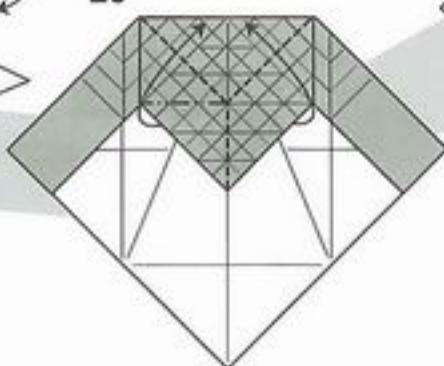


28

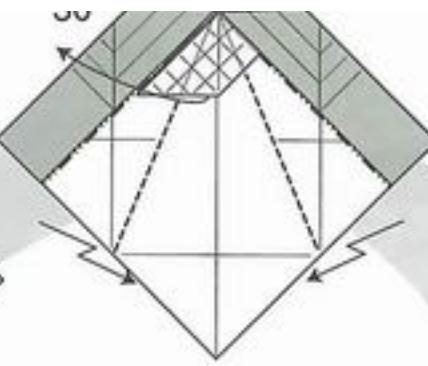


折りすじに沿って
まとめる

29

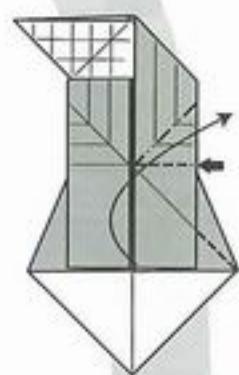


30

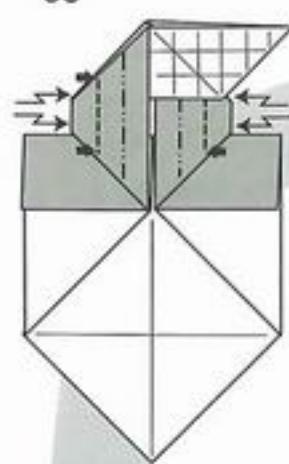


31

中央部を手前に引きながら
両側を段に折る

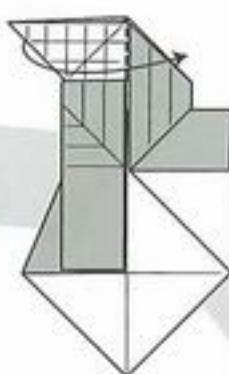


32



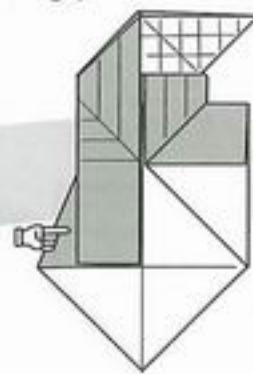
段に沈め折り

33



左側も31~32と
同じように折る

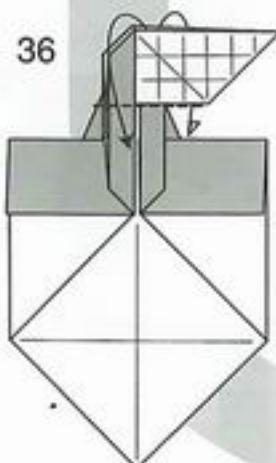
34



右側から押し込む
ように折る
図の山谷によく注意

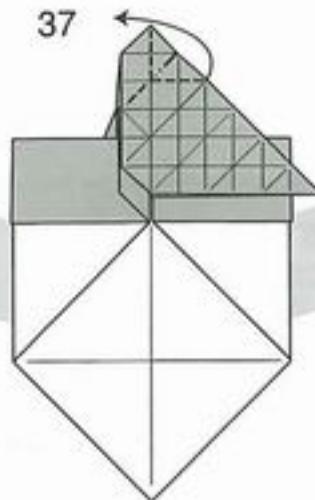
途中図

35

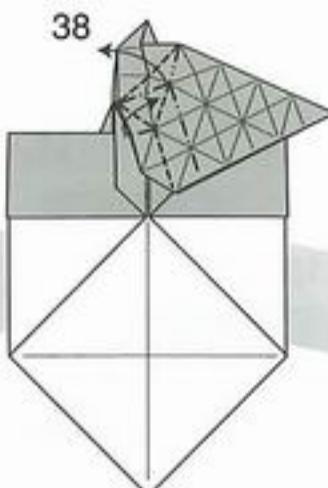


向こう側も同時に
折り返す

36

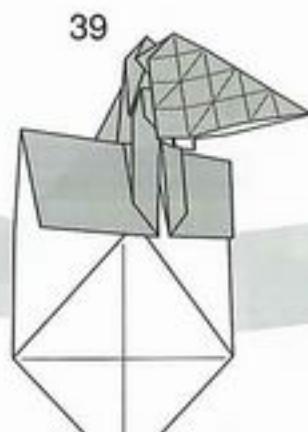


37

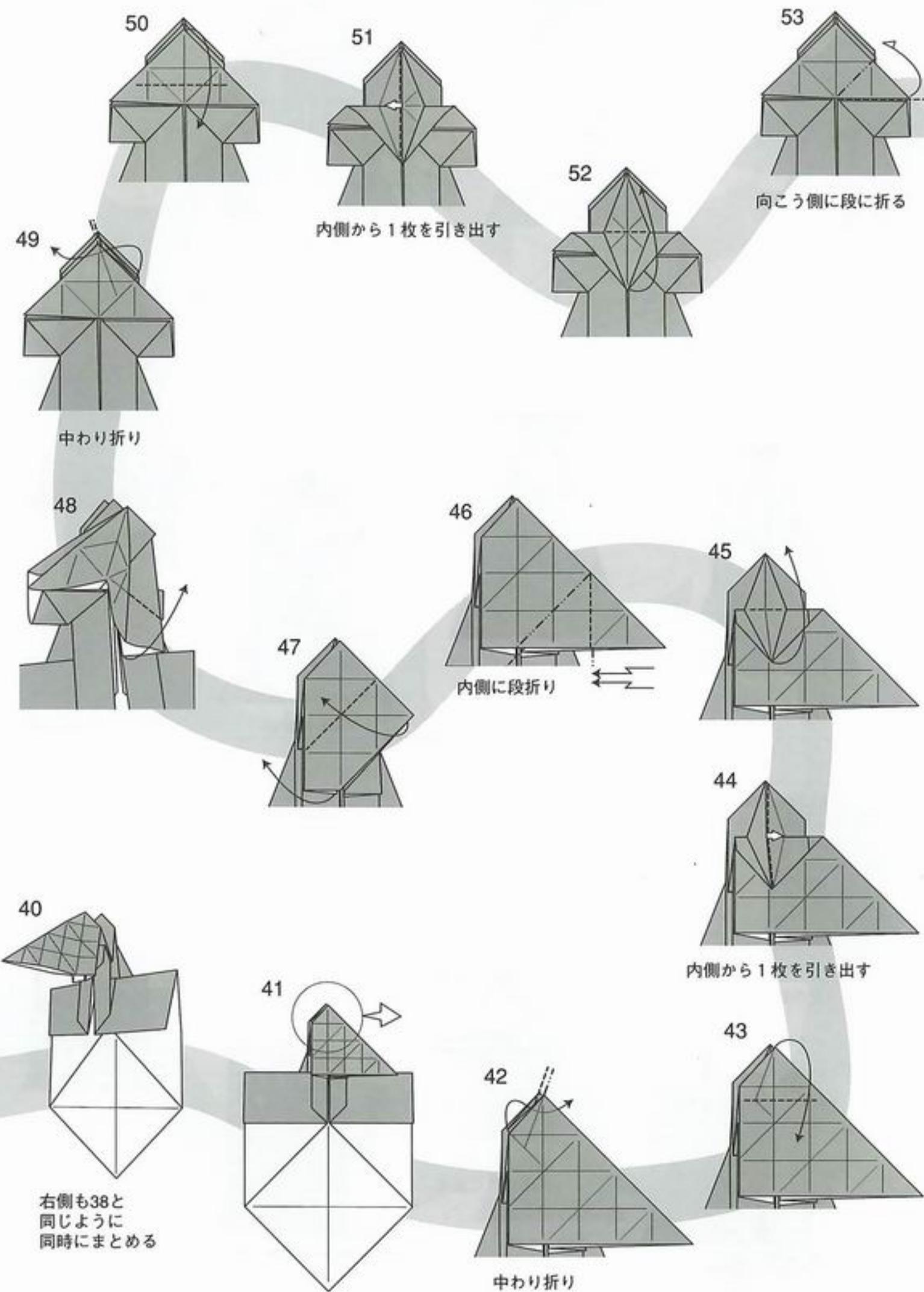


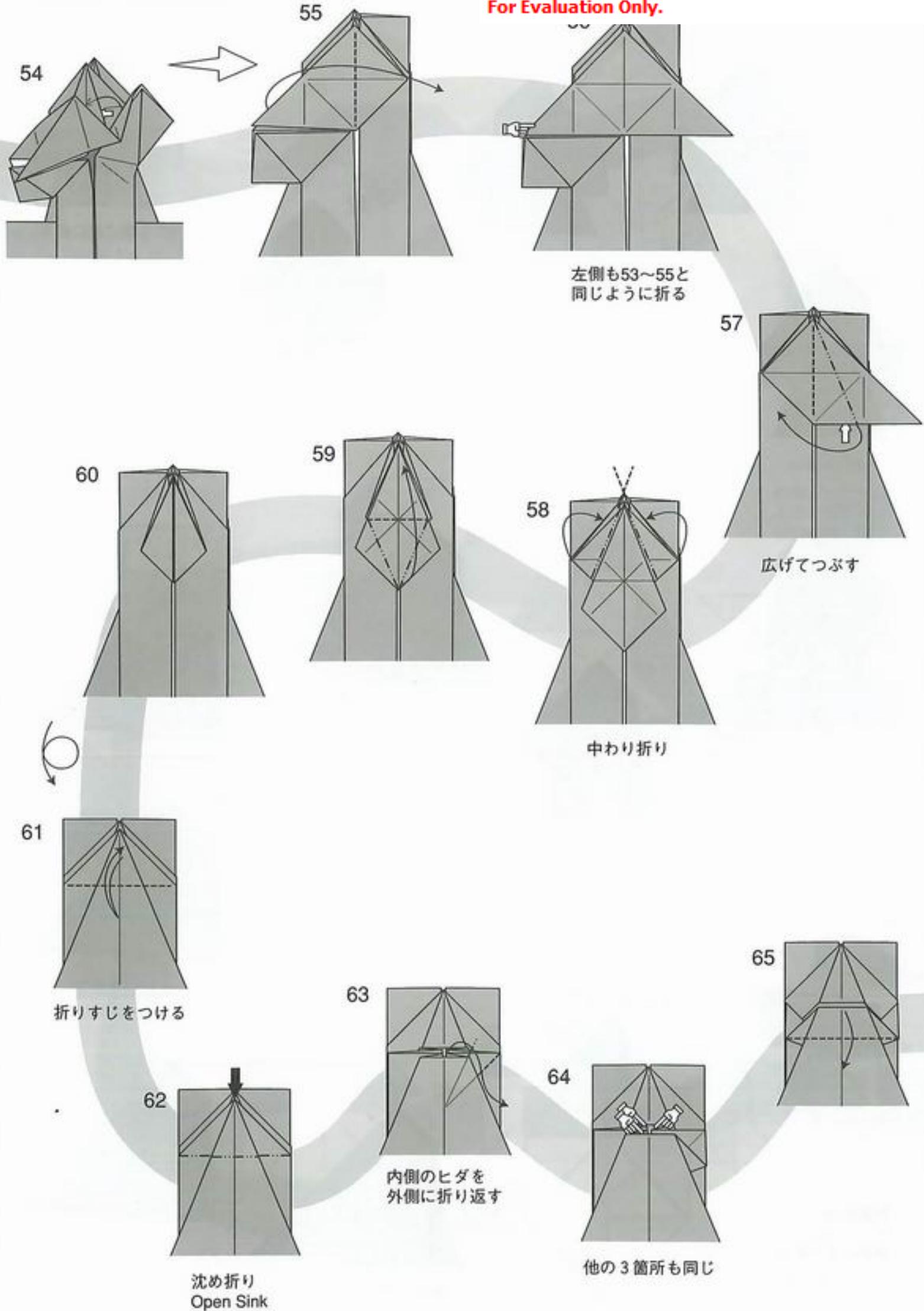
途中図

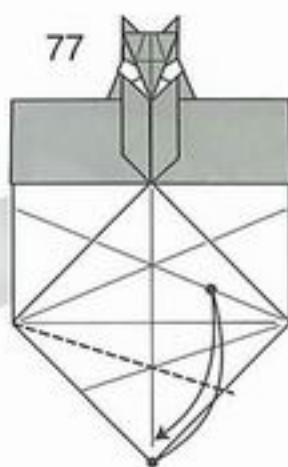
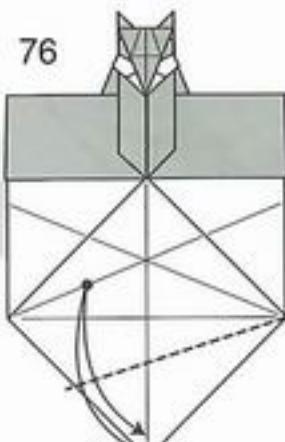
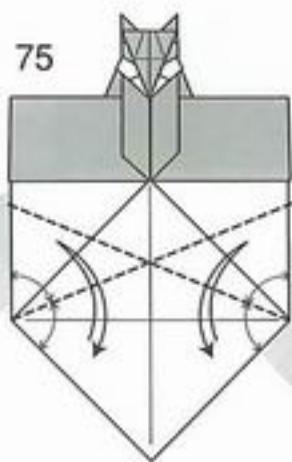
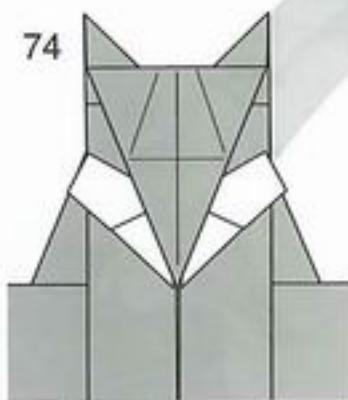
38



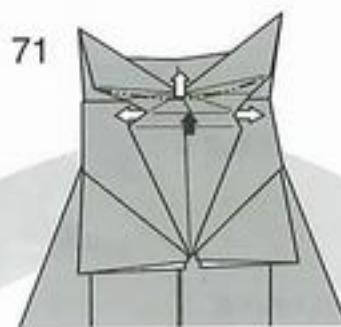
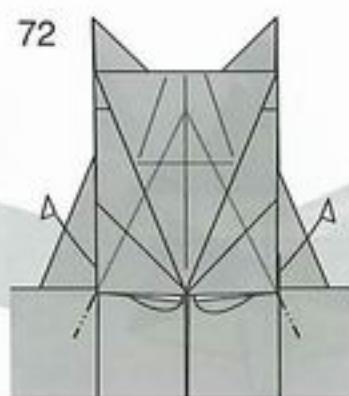
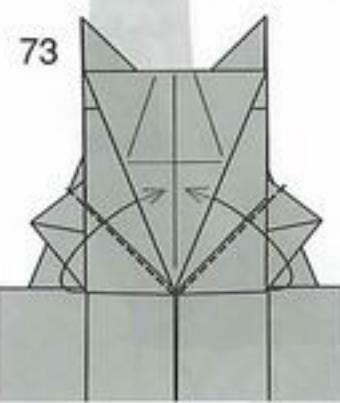
途中図



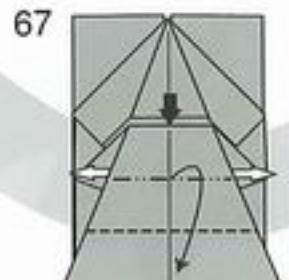
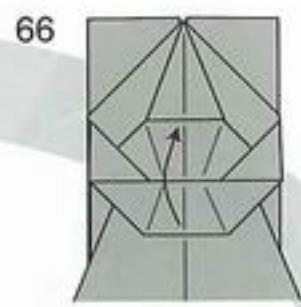
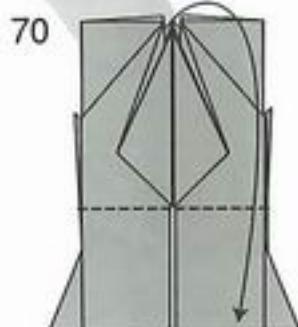




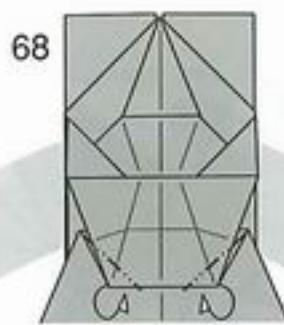
折りすじをつける



カドを平らに
つぶすように
しながら折る

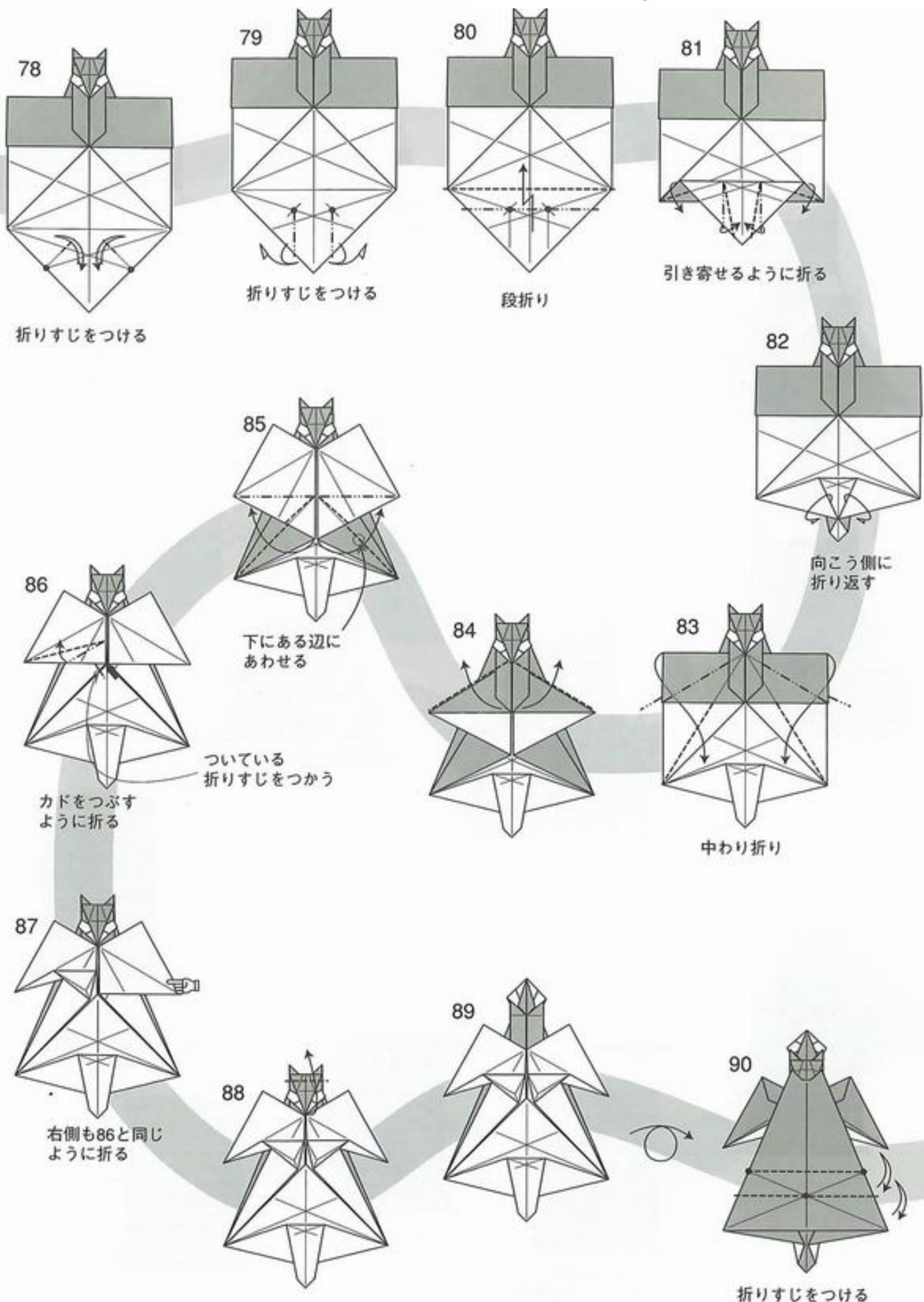


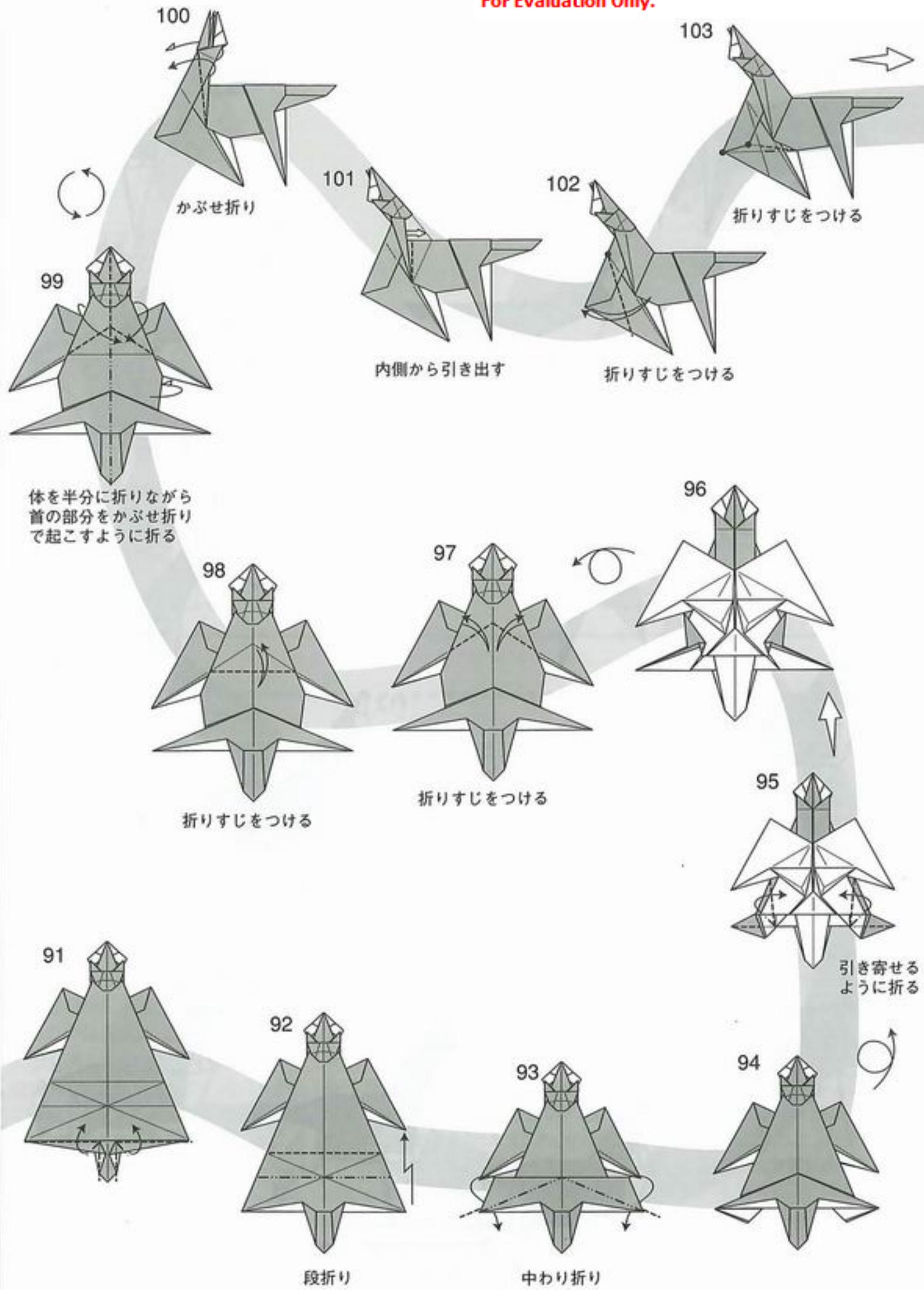
左右に広げながら
つぶすようにまとめる

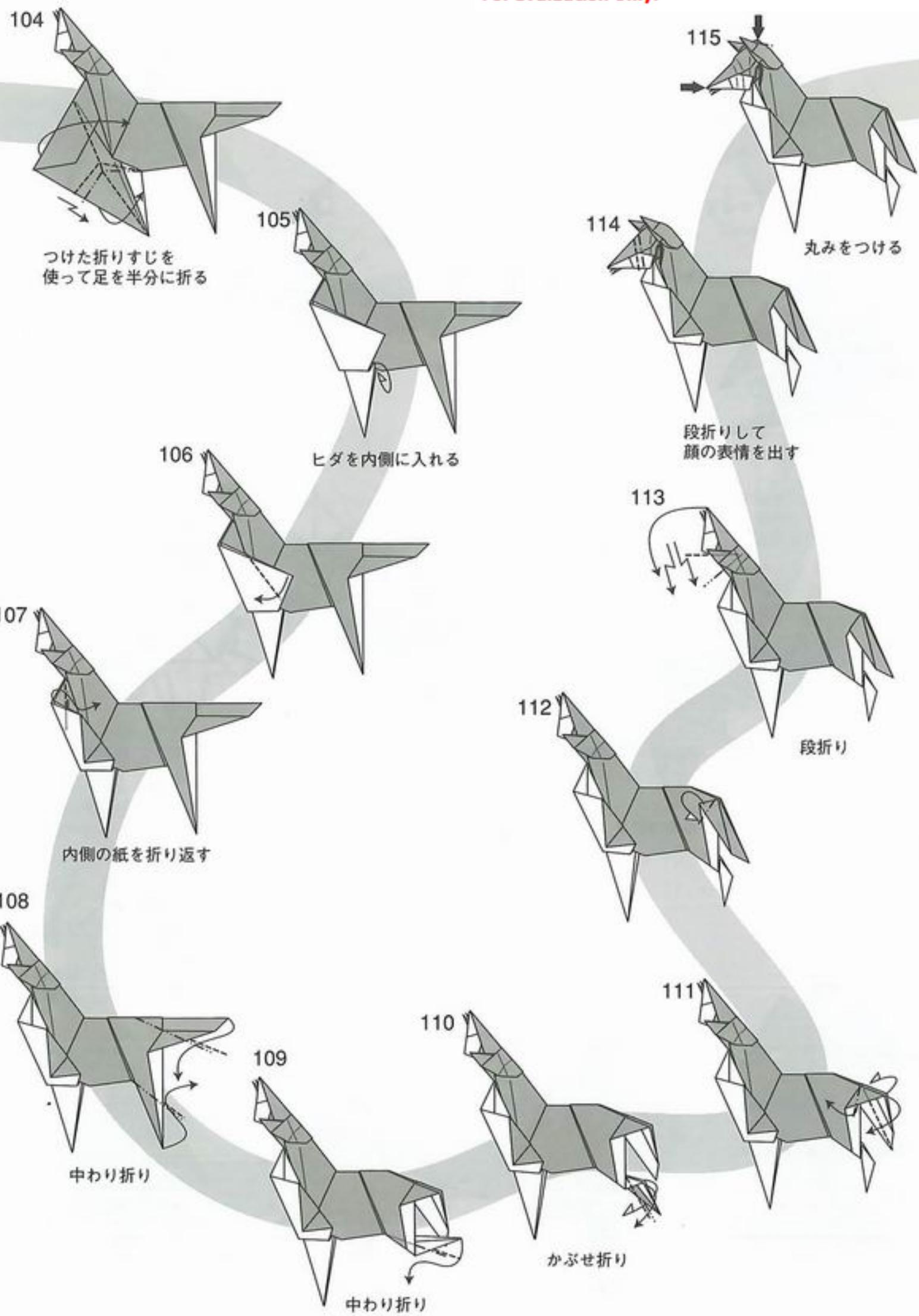


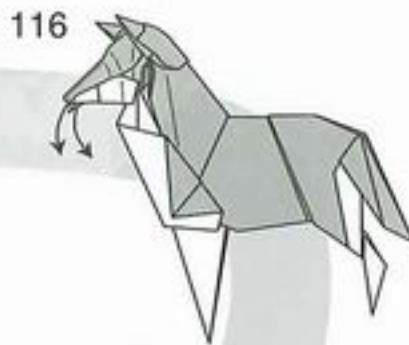
向こう側に
折り返す











舌と下あごを下に引き
表情をつける



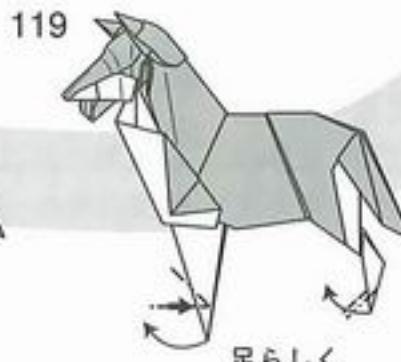
できあがり



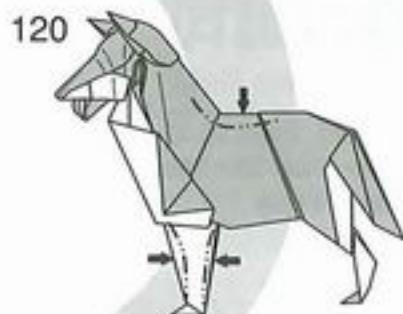
下あごの先に丸み



舌らしく



足らしく



丸みをつける



Orisuzi ("Fold-Creases") • • • • • • • • • • • • • • • • • • •

“いま”の元

Why What I Am Is What I Am

原 司

Hara Tsukasa

僕の初めての折り紙の本は、山口さんの『おりがみ事典』です。6歳の時くらいに母に買ってもらったこの本に載っている作品はほとんどすべて折りましたが、一番最初に折りたいと思ったのは表紙の折り返しの山口さんの写真の中に写っている、たぶん古生代の生物の作品です。ところがこの細長いたくさんの節のある作品は、この本の中には載っていないのです。インターネットなど知らない当時の僕にとってその作品を探す事は出来なかつたので、どうにかして同じ形にならないかと紙と格闘した事を覚えています。

しかし写真の写っている作品の一部を見ただけでは当然折れる事はなく見えないところがどうなっているのか考えました。そんなところに折り紙の楽しさを見つけていました。そんな時です。僕は当時名古屋に住んでいて、とある用事の帰り道母と2人で本山の和菓子屋さんの前のバス停でバスを待っている時、1人のおじさんが青い雷竜の折り紙作品をくれました。そのアバトサウルスに見入ってしまった僕は広告の紙で折られたアバトサウルスを、僕も折りたい、と思いつつそく広げて折り方を考えました。ああでもない、こうでもないと、その広げた紙をいじって

いるうちに紙が真っ二つに割れてしましました。しかし、やはり僕の諦めきれない気持ちは、その作品の形を記憶を頼りに折ろうとしていました。

結局それらの出来事が僕を折り紙をやる方向に持っていましたのだと思います。その後僕は、恐竜の折り紙を片っ端から折っていました。そして東京に引っ越してきた後は、例の『おりがみ事典』をたよりに、折紙探偵団を探し出して今の僕に至るわけです。

そう、「バニースーツ」や「ネコミミ」などを折っている今の僕に至るわけです。